

全国国立大学附属学校PTA連合会 2018年度団体表彰エントリーシート

所属学校名	岐阜大学教育学部附属学校		
PTA名称	附属学校PTA	会長名	岡本 達明
応募部門	事業部門		
事例名称	大学と学校、PTA で連携して行った「養護学級親子デイキャンプ」		

小学校の保護者と児童・職員で行っていた「親子デイキャンプ」を、3年前から中学校の養護学級の保護者と生徒・職員と合同で行うようになった。児童や保護者は、小から中へ進学していく時に不安を多くもつので、PTAからも小中合同で開催できるよう依頼し、実現することができた。

さらに本年度からは、昨年度まで附属学校敷地内で行っていた「養護学級親子デイキャンプ」を、岐阜大学教育学部特別支援センターで行えるようにPTA本部、特別支援委員会、学校、大学と連携をとりながら、人材、場所、道具などの有効活用ができるようにもした。

この取り組みのねらいを、

- ① 児童生徒のコミュニティーと保護者同士のコミュニティーをつくり、連携を図る。
- ② 大学の先生からも、子育てについての新しい知見を教えていただく。
- ③ 多くのボランティアとの関わりの中で、子ども達の新たな一面を見つける。
- ④ 知的障がい特別支援学級以外の小・中学生で、困り感をもった児童生徒の気持ちを解放できる場をつくる。
- ⑤ 今後、相談できる場をつくる。

として、児童生徒の保護者、PTA役員、学校教員、大教、事務職員が共通理解をし、実施した。

【子ども達の様子】

子ども達は、普段とは違った環境で緊張はしたと思うが、仲間や大学生と満面の笑顔で交流することができ、夏休みのよい活動になった。また、小中の垣根が少し取れ、前日からお互いに声を掛け合って買い物や準備をすることができた。

【保護者の感想】

保護者も、子ども達の普段とは違う表情や仲間との交流の姿を直接見ることができ、今後の過程でどのように接するとよいのかが参考になった。大学の様子や新しい知見もいただくことができ、どの保護者も喜んで活動ができた。そして大学の先生の講話から、私たち保護者が今後何をしていくとよいのか、保護者同士のネットワークや子ども達のコミュニティーをどのように作っていくとよいのかなど、たくさんのヒントをいただけた。

【活動を通して】

これまでは、附属学校を通して大学の先生に依頼をしていたが、今回から保護者と大学の先生との連絡が直接できるようになり、保護者と大学の連携をスムーズに行うことができた。そして大学の先生からもたくさんいろいろなご示唆をいただくことができた。

また、附属の卒業生や保護者、PTAのOBなども気にかけて参加していただくことができ、幅広い交流がもてた。

今後もこのような会を実施するとともに、特別支援学級だけでなく、通常学級や市町の学校のよい参考になるように発信していきたいと考えている。